



急に

ガードの固い俺の彼女が

尻軽女!?
になる

NTR

精液まみれの
亜矢の顔

この上ない
夢心地

あっ……
食べた!

エ…エロい……

うう……
急にまふたが
重くなってきた……

うわあ!
めっちゃ気持ちいい!
いった時の感覚
それは性的快感の絶頂!

う
あああ
あああ

本文48P



応援団の福山亜矢

誰もが憧れる
理想の恋人

それは
俺の彼女でもある

誰から見ても

俺はきつと完璧な彼女と
付き合っていると
思う

そんな俺はサッカー部の
エース 鈴木優

亜矢の口
とても柔らかい…

うっ…
気持ちいい

しかし…



「うんめん…」

私まだ心の準備
できてない……

ま、待って……

でも経験してみ
てはじめて分かる
こともあるよね



そ、そうだったの…

じゃあまだダメ
ってこと……？

う…うん……

本当に
ごめんね

付き合って何年も経つのに

亜矢はずっと本番を受け入れて
くれない……

俺は数日後、大事な
試合を控えている

そんな俺を試合に
集中させるため

キャンプテンは一時的に
俺の携帯を没収した

この数日間をあえて
亜矢と会うのをやめよう

と決心してはみるが
俺は時々自然と亜矢の家に
足を運んでしまっていた

亜矢今日も早く
寝ちゃったみたいだな

ここ数日
毎日こんな感じだ

来れば亜矢の
人影でも

見れると思ったのに……

んあっ

んあっ

んあっ

んあっ

んあっ

んあっ

んあっ

んあっ

んあっ

あつ、最高
気持ちいい……

セックスして
本当に……



ここ何日かのセックスは
確かに最高だったけど

なんでずっと
暗闇の中だったの？

しかも優君なんか
いつもと違ったよ

実は

わあああ！

「これ本当に優君？」
って不思議に思うこともあった

チエツ……

あ！

ズキ
ズキ
ズキ



んあっ♡

深い!

奥まで
突きささる!

んあっ♡

それ……

まさに
その感じ……

セックスの時の
優君

すごく強引

そして少し
乱暴

でも……

あっ♡

ん

ズン
ズン

ズン
ズン

この手の乱暴
なぜか嫌いになれない
...

いや……

もっと攻めても
いいんだよ！

私むしろ大好き
かも

もっと優君に
強引に犯されたい！

んあっ
んあっ

強引なセックスしてくる
優君大好き

うんうん……

いい感じだ





パチッ
パチッ
パチッ

パチッ
パチッ

パチッ
パチッ

パチッ
パチッ

んあっ
んあっ

うっ
そろそろだ

そろそろ

優君もっと強引に
挿入して

乱暴なこの
感じまるで
媚薬のように

私を
興奮させる！

あっ！

イ、イク

アッ
アッ

アッ
アッ



あら...

今はまだ...

ダメ、ダメ!

またビチヨビチヨになっちゃった



あーあ...

また
シート洗わないとな

.....



ここ数日

ほぼ毎日
洗濯してるな



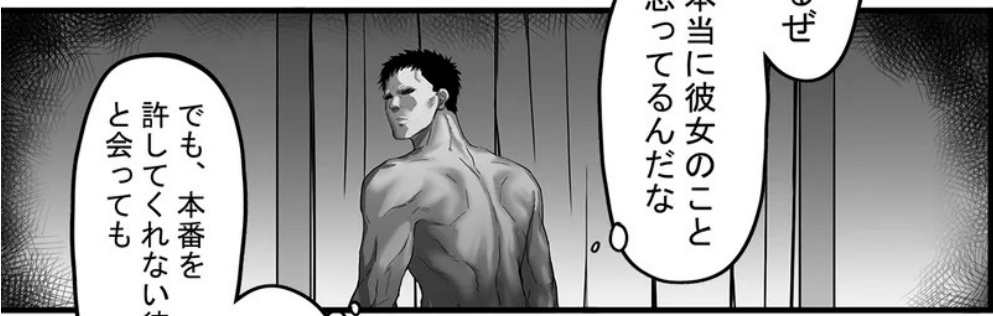
あゝあゝ

やああ!

抜いてはダメ

ヤッ!

ニクニク





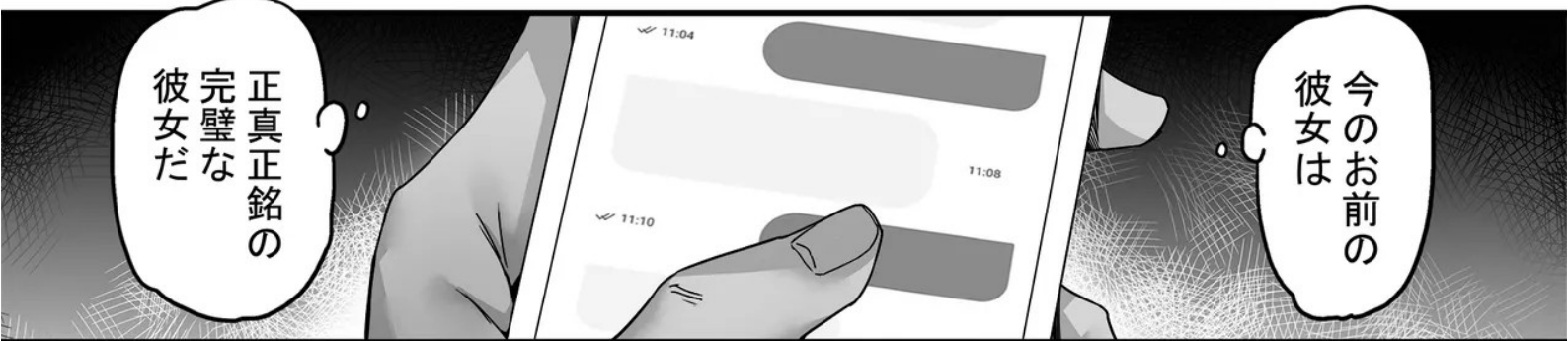
だから俺が
手を出したんだ

優の携帯を使って
お前の彼女に
俺を優だと思わせる

そして毎晩俺と
密会し

俺の調教に
より

亜矢はすでに
セックスにはまった



今のお前の
彼女は

真正正銘の
完璧な
彼女だ



それじゃあ…



しっかりと俺に
感謝しろよな……





別れの前に



?!

あ!!



もう一発いくか

ここ数日俺のために
頑張ってくれたお礼にな!



わあ...

ど、
どうした?
もう一回やる?



今日の練習
本当に満足だ！

そうだよ
特に優のやつ
大活躍だったな

この調子でいけば
次の試合
勝てる見込みあるな！

はは
褒めすぎだよ

そんなに
褒めんなって

みんなの力合わせて
全力で頑張ろうぜ！

おい、この場面では
謙遜なんかするな

あ
キャプテン



ほらよ、携帯
しばらくの間返すよ

試合も近づいてきた
彼女に会って
リラックスして来い



うん……

お前ってやつは

主力としての
覚悟が足りてないな



あ、ほ、本当に
いいんですか？



そんなに
興奮するな
この一日だけだぞ

むちゃくちゃ
やるんじゃねえぞ

はい、キャプテン
ありがとうございます

絶対に
注意します！



分かったから
さっさと
持っていけ

あーやっぱり

亜矢から連絡
たくさん来てる

はい！



あいつ……

俺の努力を絶対に
無駄にするん
じゃねーぞ

お前たちの関係を
少しでも前に進めるために

マジで苦労したん
だからな……

昨日の夜亜矢が寝入った後

この数日間の空白を埋めるために

念入りに二人のメッセージ内容を仕込んでおいた

それは大変な作業だった

まずこの数日間の亜矢とのやりとりを削除して

それから亜矢の携帯から会えない不満を優に送る

これで完璧だろう

優君最近忙しいの？

試合に向けて練習大変だよ

ずっと返信がないんだけど

明日会うことできる？

それで優の方からも亜矢と会う約束を切り出す

亜矢、明日の午後練習終わって会うことできる？

今回は学校で違うこととして遊びたい

最後につじつまが合わない内容を削除して

それぞれが見るべきメッセージだけ残しておけばよし

んうゝもう
朝なの？

部屋の中は優君に
あげた香水の匂いと

なんかロマンチックな匂い
が混ざっている……

匂うとなんかまた
興奮してきた

今晚も優君早く
来てくれないかな

あっ！
優君からの
連絡だ

亜矢、明日の午後練習
終わって
会うことできる？

今回は学校で
違うこととして遊びたい

ははっ

優君も私と早く
会いたがってる
本当に私達
気が合うわ

明日の夕方
大丈夫だよ！

講堂の前で
サプライズがある

もしよかったら
直接来て欲しい

やったー！

亜矢が講堂の
前で俺を
待っている？

運よくちょうど
携帯も戻ってきた

マジで俺たち心が
通い合ってる！

待ってるよ！

ふふ……

早く俺が用意した
ご褒美を
味わうんだな

その後ちやんとまた
試合に向けて
集中するんだぞ！



亜矢
着いたよ

待ってたよ！
中に入ってきて

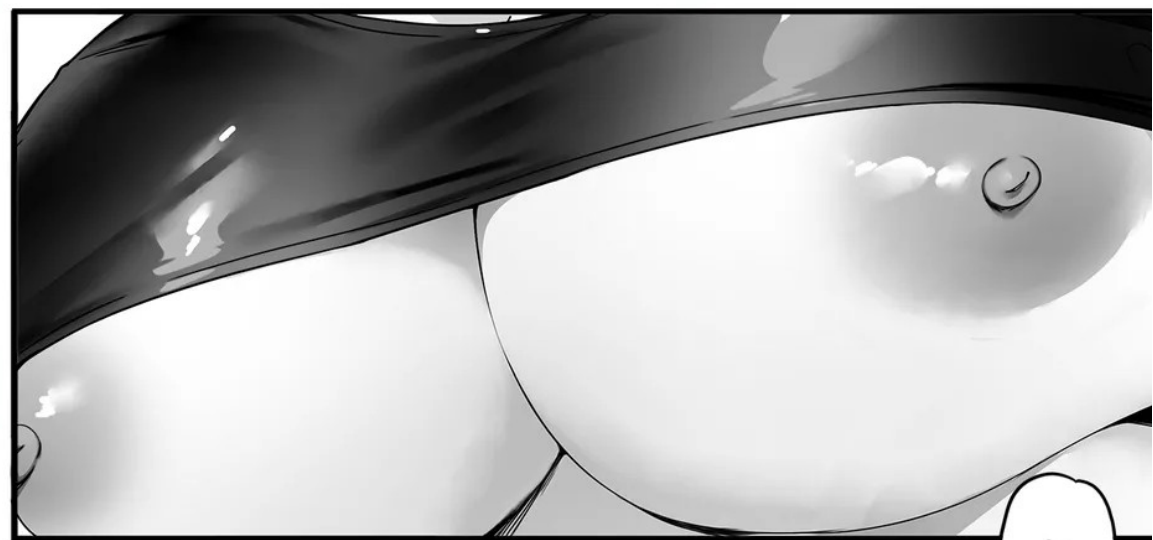
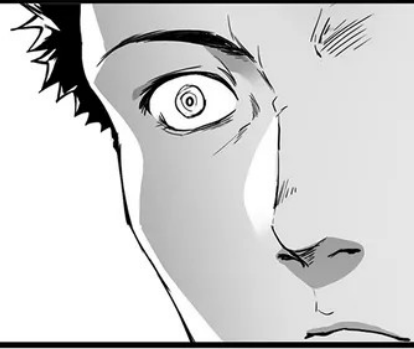
亜矢もう中に
いるの？



ここ数日会って
ないから

なんか妙に
テンション上がるな

カッ



あっ……
こ……

これは……





…亜矢なのか？

これは…

こんなのマジで…
誘いすぎだろ……

カッ

うっ、俺のあそこが…
瞬時に反応してきた

今まで
見たことのない
亜矢のこんな一面

前もこんな魅惑的な
ボディ見たことあったけど

さらに優雅で芸術的な
ボディになっている……

あ…もうダメだ…

今すぐ亜矢に飛びかかって
抱きしめたい

あの柔らかな亜矢の肉体に
包み込まれたい！

今ここに漂う
亜矢の淫乱な呼吸音





ズボンの上から
舐められても
イキそうになる

うう！
こ、これは…
亜矢の舌
パワーアップしている



あ！

そっそっ！
早く俺の肉棒を
啜えてくれ！

もう！



ああ…
毎回優君の肉棒
見るたびに
愛しくてしかたないわ

あ！
気持ちいいー！

あーん
♡



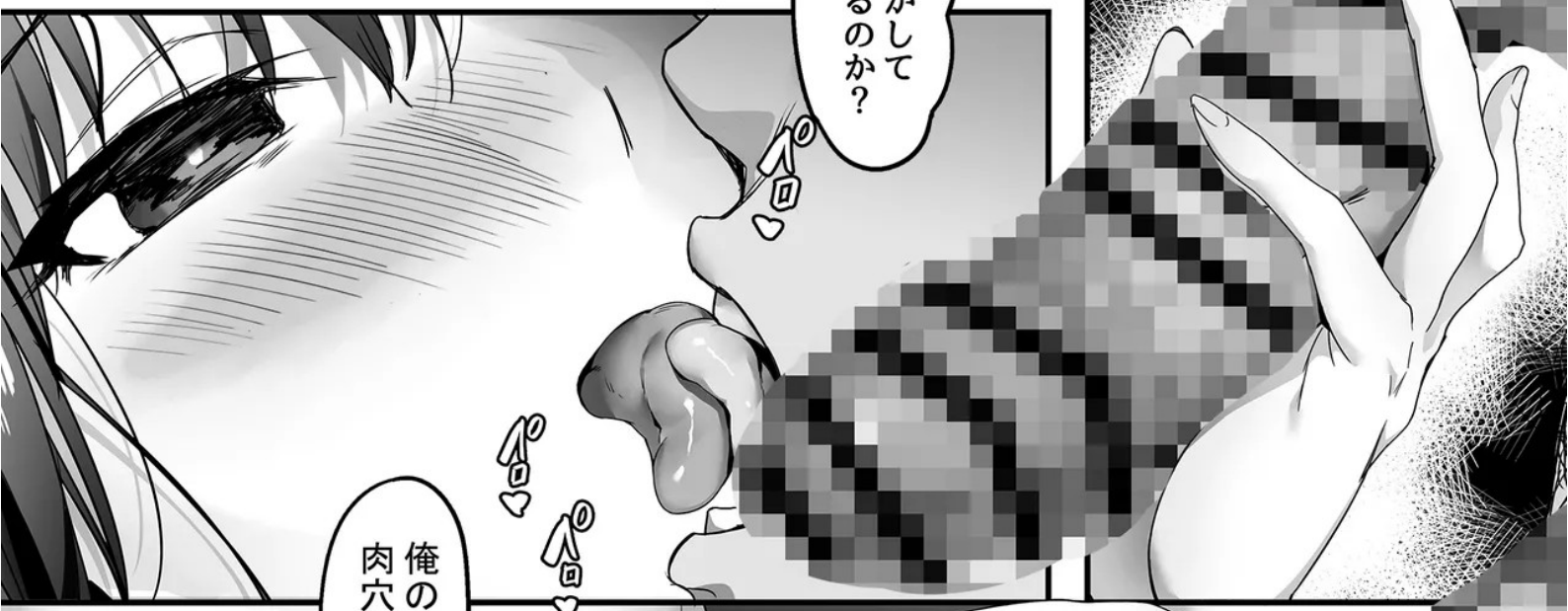


まあいいや
どこだろうと
俺は舐めまくる

いや
なんか違う
この姿勢じゃあ
舐めることできない



んん？
これは…もしかして
しごいてくれるのか？



俺のチンチンで
肉穴をこすっている
こんなことめったにない

は？



チンチンが
穴の上で踊っている
亜矢がそれを
楽しんでいる



この行為いつもは
俺からやるよな
だって亜矢いつも
挿入されるのが怖いって



でも気を
つけるよ
もし滑り込んで
俺のせいじゃないからな



えっ？
今少し膣内に
入り込んだような



ま……
待って……



あ……

……



な、
なんだ？

すっ…
滑っていった

の
ハヤ

!

こ、
これは
どういふことだ？
マジで
入ってしまった！

でも…

誤って入ってしまった

というよりも
亜矢が自分から
入れたような…

心の中でそんな疑問は残っていたが身体はすでに本能のまま動き出していた！

でもいま完全に生だぞ
初挿入が生なんて

そう思うと興奮しないではいられない！

や、や、や、
自分の身体が制御不能に

本当に信じられない
俺の肉棒は今まさに
亜矢の穴の中

しかも亜矢今回はまったく抵抗していない

身体が勝手に動き出す
亜矢の肉壺柔らかくで
ビシヨビシヨ



今はいったん落ち着いて
理性を取り戻さないと

でも……

おかしいな！

このままいくと
すぐに射精してしまう！

分かっていても
止められない爽快感！

亜矢のアソコ
込み上げてくるほどの快感！

あああ

もう構ってられるか！

亜矢のマン汁も
飛び散っている
亜矢もきっと楽しんで
いるだろう！

このまま
突き進むしかない！

力尽きるまで
挿入だ

あ！

中出しは
ダメ！

あぁ！

あっ

あっあっ

んあっ

んあっ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

精液まみれの
亜矢の顔

この上ない
夢心地

あつ……
食べた!

エ……エロい……

うう……
急にまぶたが
重くなってきた……

うわあ!
めっちゃ気持ちいい!
イった時の感覚
それは性的快感の絶頂!

う
あ
あ
あ

きっと練習で
疲れたんだろう

全身がぐったり
している…

少し寝かせて
くれる？

あっ…
優君お疲れ様…

優君私の
胸の中に

なんか
とても幸せ

なに!?!?

でも…

ここ数日俺と
会ってるだつて
…!?!?

でも…
私まだイケて
ない…

一体誰のことだ?

なんかいつもと
違う感じ…

たぶん今日優君
香水つけてないからかな

あっ…!?!?
なんだつて…?

ここ何日か
練習漬けで

亜矢からもらった
香水なんてつけた
ことないけど



……

亜矢……
お前大丈夫か？



ごめん……
急に頭がくらくらして……
家に帰って休むことにする

わ……
わかった



身体には気をつけるよ……

本当に大丈夫か？

なんか心配だな……



ここ毎晩

……
これ一体
どういうことなの？

私いたい
誰とセックスして
たのよ！？



今思い起こしてみると

あの人暗闇の中では
優君と髪型も匂いも
一緒だったけど…

確かに何かが
違ったの

特に…

ペニスが優君のより
大きかった気が



おい、優…

お前
いったいどこに
いたんだよ

どうだ？
リフレッシュ
できたか？

携帯また
没収させてもらうぞ



試合に集中するために
よろしくお願いします



すみません
心配かけさせて



とにかく試合のこと
だけに集中するんだ



なにぼーっと
しているんだ？

早く練習に
戻れ！



よし！
気を引き締めていけ！

はい
分かりました！



承知しました！



優のやつ垂矢をかえって欲求不満にさせたんじゃないか？

なんか気がかりだな

.....



やはりいっぱい遊んでたようだな



.....

あの人の



本当に大きい.....



だってあれは俺が調教したものだからな
もし優が垂矢を傷つけたのなら

俺も黙っているわけにはいかない



ああ……

私どうしちゃったのかしら

頭の中にずっとあの日のセックスが思い起こされる

夢のような素晴らしい性愛の境地



優君？ 私のこと心配してくれたの？

？



あなたは誰なの？

……



これは優君ではない

あの人だ！



今日楽しかった？



それじゃあ仕方ないな



どっやっポロが出てしまった



そういふことね

……



俺が行って
埋め合わせてやろうか？

俺はお前を女に
仕立てあげた男だ
優あいつセックス
下手くそだろ？



……
見破られ
てしまった

しょうがないな



んあっ……

でも……

なんですつとあの男
のこと忘れられ
ないんだろ

サイ

サイ

あの時の境地を

んあっ……

身体がずっと
欲してる……



んあっ……

私ったら
何やってるの



優君私のこと心配
してくれてるのに

私欲情して知らない
男に寝取られた

んあっ……



オキナ

もう手の打ちようがないわ

カチヤ

.....

今はただ.....

数日前起こった
夢心地に浸りながら...

私の性欲の灯が
消えるまでただ待つだけ

...





まさにこれだ……

この肉体
見慣れてないようで
見慣れてる

……
この子

やっぱり満足して
なかったんだな



はやく私を
前みたいに満足させて

ふんっ……

おいおい!!
待てよ

私もう我慢
できない

そんなに
焦るなって

いまの俺を
こないだお前を
調教したあの
男と同じだと思ふなよ

んあ
んあ



今日は俺のやり方でやらせてもらうぜ

ズッ



今の俺はお前が恋する
たった一人の男さ

そんなに俺のことが
恋しいなら



俺はお前が

んあっ♡



ズッ

ズッ



どれぐらい我慢
できるか試したい!



んあっ♡

あー？



あっ…



んあっ
んあっ

私もう
我慢できない……
私のこともう
苦しめないで

やはり俺が
開発しただけあるな
たった一日空いただけで
こんなに飢えるとは

ハッ
ハッ
ハッ



早くわたしに
肉棒……

んうっ……
毎回思うけど
完璧なおしりだな……

下はもう完全に
濡れてるし
妊娠する覚悟
でもできたのかな？



じゃあ先に
舐めさせてやるよ

んあっ
んあっ
んあっ
んあっ
んあっ



うん...♡

ここの味も
悪くないな

欲求不満な女のアソコは
味も濃厚なんだな

どう?
入れて
欲しい?

うん...
入れて...

懇願したら
入れてあげる

お、お願い
入れて

うん
うん!

んあ
んあ

ん
ん
ん

プチヌー

あっ♡

ううう…
入ってきた
気持ちいい…

おいおい
そんな
もんかよ

早く淫乱に
うめけよ

じゃないとセックス
止めてやる

んあっ
や、止めないで

私ちゃんと
うめき声上げるから

あっ
あっ

うあっ
うあっ

うん、この声なら
許してやる

俺がさらに
その声をもっと
大きくしてみせる！





おい……
なにぼーっと
してるんだよ

よし
体位変えるぞ

……

ぐちゃー
んあっ
んあっ

んあっ
んあっ

んあっ
んあっ

もしかしてもう
イっちゃったのか……

お前……



今日は俺も
満足させてもらう
じゃないと
許さないからな

そんなの
許さないぞ……

自分だけ気持ちよく
なりやがって

わ、分かりました
私しっかり
やります!

そうだ
そっちがイっ
てしまったなら

んあっ!

んあっ

んあっ

んあっ

ぐちゃー

ぐちゃー

さあ来い！

俺にもっと
懇願するんだ

はい……

あなたの肉棒
入れちゃっていいかしら？

お願い

うん……いいぞ

でも
優しく頼むぞ

うん……♡
あん……♡

あとお尻も上下左右に
しっかり振るように

淫乱に頼むぞ

いい子だ……

だったら俺からもう少し
ご褒美をあげよう

はい
私頑張っておしり振るから

んっ♡
んっ♡
んっ♡

フエー

フエー

フエー



ああ!
ああ!

な、なんで…?

肉棒がさらに
固くなってる!

聞き分けのいい女は
俺を興奮させるからな

俺達やっぱり
気が合ってるんだな

どうだ?
優なんかとセックス
するより楽しくて
気持ちいいだろ

もっと
大きな声で!

そう……
なんだって
聞こえないぞ

そうだ、
それでいいんだ

それじゃあ、
今回のご褒美
ど・う・ぞ!

そうです!

あなたとのセックスは
優君より

気持ちいい!



ふー気持ちよかった！

こんなすがすがしい
射精感久しぶりだ

いまだんな
感じ？

気持ちいい！
三回も
イッちゃった！

正直、日中お前が優と一緒に
いるのも気に食わないが

夜になって俺に
こうやって懇願してくれるの
なら甘んじて受け入れる

ん？

ん？

もし今後もこの関係を
維持したければ

今回の件
優に知られちゃダメだぞ

もし知られたら
試合に大きな影響
があるからな、分かったか？

……



こ、これは…

どういふことだ？

キャプテン
亜矢と…

うわあ…

俺夢でも見てる
のか？

こんなことどうして
起こるんだよ！

さっき俺初めて
セックスしたのに

マジかよ

まさか俺とやる前に
キャプテンとすでに
セックスしていたのか

信じられない

訳が分からん

受け入れられない…

くそっ、これは
予想外だ…

気付かれたとしても
試合の後だと思っていたが

これじゃあ
試合への影響は避けられそうも
ないな…こ、これは…

ふんっ、
しょうがねえ

まあもう
どうでもいいや

試合なんか
優次第だ

正直言って

俺もこの女のこと
忘れられないんだから

試合なんて自分への
言い訳でしかない

優自身も彼女に
申し訳なく思ってるだろう

だが、優が今戻ってこなければ
目の当たりにすることもなかった

結局は
自己責任ってことだな

今となっては俺と亜矢は
切っても切れない関係になった

おい、まだ終わってないぞ
今晚は明るくなる
までやるぞ

非道德だとかなんとか
今は関係ない

俺達は単純にお互い
楽しみ合ってる、それだけだ！

はい……